日本キリスト教団 **東金教会〔２２〕**

2017年5月28日 復活節第７主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	井上
奏楽	中里
受付	津久井
案内	藤田
名札係	藤田
礼拝感謝祈祷	森川
〃 〃	藤本

前奏		中里
讃美歌	２３	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	21	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	ローマ書 9:19～33	司会者
祈祷		井上
新聖歌	２３９	一同
み言葉の伝え		中村征一郎
「神に口答えする私たち」		
讃美歌	３２６	一同
献金		
礼拝感謝		森川
〃 〃		藤本
報告		井上
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)		中村征一郎
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 5月31日(水)午後7時半
早天祈祷会 月-土7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
臨時長老会 本日礼拝後
聖書輪読会 6月4日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 6月4日(日)10:25-10:30

【報告】

☆そろそろ梅雨の季節に入ります。みなさまお身体ご大切に。お過ごし下さい。
☆次週はペンテコステ礼拝です。又、礼拝後墓前礼拝が予定されております。お覚え下さい。
☆ペンテコステを覚え、感謝献金をお献げ下さい。
☆６月１６日午前10時半より午後２時半まで千葉支区婦人部東総分区集会が持たれます。会場は２階会堂です。
☆既にご案内致しましたように６月１８日は朴 教師の就任式及び新任長老の任職式が予定されております。又、礼拝後朴先生を囲んでの就任お祝い会が持たれます。みなさまお覚え下さい。
☆５月３０日は東京教区総会が予定されております。
※幼稚園理事・評議員会を５月３１日午後７時より「いちょうルーム」で開きます。理事・評議員の方は宜しくお願い致します。

【臨時長老会報告】

日時…5月21日礼拝後 場所…教会事務室
出席…中村牧師 岡村 安延 土屋
議事…①朴教師就任歓迎会の件 ②転会者の件

【5月28日～６月３日の誕生者】

○澤本 姉 ○中里 姉 ○青木 兄
○青木 兄 ○鵜沢 兄 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(5/21)	14	34	48
聖研祈祷会(5/24)	1	3	4
聖書輪読会(5/21)	2	3	5
教会学校(5/21)	10	21	31

早天祈祷会

日	男	女	計
5/22	1	2	3
5/23	1	2	3
5/24	1	2	3
5/25	1	2	3
5/26	1	3	4
5/27	1	2	3

主日礼拝献金(5/21)……30,526円
教会学校献金(5/21)……8,034円

【今日のメッセージ】

題［神に口答えする私たち］
聖書 ローマ書9：19～33

1．口答え

2．パウロの解答

3.躓きの石を乗り越えて

【次週(６月４日)礼拝案内】

題 ［主を呼び求める］
聖書 ローマ書10:1～13
交読文 ２２
讃美歌 ２４番 ３８５番 ３３３番
新聖歌 ４１６番

【次週(６月４日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村征一郎
司式者	宮中里部
奏楽者	中
受付者	阿
案内者	王
名札当番	井
礼拝感謝祈祷	安
〃 〃	中
cs お話し	足
会堂清掃者	鈴
〃 〃	寺
花係	小
看板書き	澤

【次週(６月４日)聖餐式当番者】

配餐者 …… 森川・足立上延島
祈祷者 …… 五木田・藤田立木内林本

【聖書から】

わたしは自分が憐れもうと思う者を憐れみ、慈しもうと思う者を慈しむ。
ローマ書九章一五節

ローマ書は九章からそのテーマが変わる。即ち八章までは個としての己の救いがその主題であった。パウロは己の救いの経験をその下敷きとして神の救いとは何かを力を尽し、心を込めて解き明かした。それは神のご意志に合致することでもあった。我らの主、イエス・キリストは社会改良家や理想主義的政治家である前に一人の者の救い主であろうとされる。一人一人その育ちも違い、考えも違う者を丁寧にご自身の民に加えようとされるのが神のご意志である。

けれどもそれと共に、神は、この世界を「現世」を「変革し、神の世界とされることを意図される。これが神のご意志であり、このために主イエスは遣わされ、パウロもその一翼をにない、これに連なることを思うのである。

ローマの信徒たち、そして私たちも神の国の先兵としてここに置かれている。信仰の眼差しが其処まで届くにはどれだけの時が必要か、いや、私たちの信仰が現世にあってそこまで届くことが出来るかは大いに問われることである。

しかしともかく、パウロの眼差しはそこまで見ている。そしてその眼差しの中で異邦人たる私たちと神の民とされるユダヤ人との関わりがどのようなものであるかを解き明かそうとしているのである。そして其処での結論は「神の選びの自由」と言うことであった。これは私たちにとっては納得のいかぬことである。それでは神の自由に人間はただ翻弄されるだけなのではないだろうか。人間の立場としては大いに言いたいことがあるのである。しかし、しかしである、このパウロを通しての神の言葉は正しい。神はまことに神であり、人間の理屈に合おうとこの神の言葉に従うことこそ信仰である。神の深さは人間を超える。人の浅智恵で神と対抗しようとするのが間違いである。神の御計画は間違うことはない。それを信じる信仰こそ求められる信仰である。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。